

環境調査結果のお知らせ

平成28年6月14日正午から浦戸湾(高知市横浜・県漁協高知支所前岸壁)の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1、表2)

湾内の水温は23.3~24.9℃で、前回調査時(H28.5.27)と比較して全層で1.8~3.7℃上昇していました。

塩分は1.8~29.0で、前回調査時と比較して表層、1m層及び底層で0.4~2.9低下し、2m層で0.7上昇していました。

溶存酸素量(表3)

湾内の溶存酸素量は2.2~9.3mg/lで、前回調査時と比較して表層と1m層で0.3~0.7mg/l増加し、2m層と底層で1.8~2.3mg/l減少していました。

透明度、プランクトン(表4、表5)

透明度は1.8mでした。

検鏡の結果、魚類に有害なヘテロシグマ・アカシオが1cells/ml確認されました。

海面の様子や魚などの生物の異常がみられたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして保存するとともに、直ちに水産試験場または中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温(℃)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H28.5.27)	
			差(今回-前回)
0m	24.9	21.2	3.7
1m	23.3	20.8	2.5
2m	23.9	22.1	1.8
B-1	24.0	22.0	2.0

表2 塩分

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H28.5.27)	
			差(今回-前回)
0m	1.8	4.1	▲ 2.3
1m	2.6	5.5	▲ 2.9
2m	22.2	21.5	0.7
B-1	29.0	29.4	▲ 0.4

表3 溶存酸素量(mg/l)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H28.5.27)	
			差(今回-前回)
0m	9.3	8.6	0.7
1m	7.6	7.3	0.3
2m	3.5	5.3	▲ 1.8
B-1	2.2	4.5	▲ 2.3

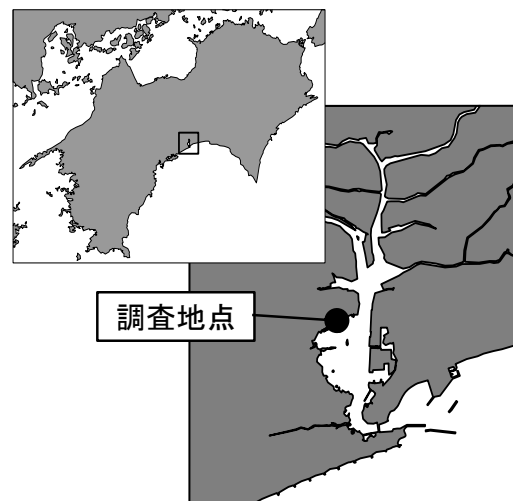


表4 水深・透明度(m)

	今回	前回
水深	3.5	4.0
透明度	1.8	2.0

表5 プランクトン(cells/ml)

測定水深(m)	ヘテロシグマ・アカシオ	ジャイロディニウム属	珪藻類
0	0	0	22,100
1	0	0	19,100
2	1	66	13,900

漁業被害が想定される細胞密度

・ヘテロシグマ・アカシオ:
10,000~50,000cells/ml(魚類等のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>